2021年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年２月12日

上場会社名　秩父鉄道株式会社　上場取引所　東
コード番号　9012　ＵＲＬ　https://www.chichibu-railway.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）大谷　隆男
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員総務部長　（氏名）武部　一弘　ＴＥＬ　048-523-3311
四半期報告書提出予定日　2021年２月12日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2021年３月期第３四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第３四半期	2,920	△29.3	△522	－	△403	－	△439	－
2020年３月期第３四半期	4,133	2.4	191	15.2	185	14.0	101	△14.6

（注）包括利益　2021年３月期第３四半期　△372百万円（－%）　2020年３月期第３四半期　45百万円（△24.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第３四半期	△295.60	－
2020年３月期第３四半期	68.27	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年３月期第３四半期	23,514	10,259	43.6	6,897.46
2020年３月期	23,439	10,611	45.2	7,134.28

（参考）自己資本　2021年３月期第３四半期　10,247百万円　2020年３月期　10,599百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2021年３月期	－	0.00	－		
2021年３月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,150	△9.8	△580	－	△460	－	△470	－	△316.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（注）特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料８頁「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期３Ｑ	1,500,000株	2020年３月期	1,500,000株
②　期末自己株式数	2021年３月期３Ｑ	14,290株	2020年３月期	14,269株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期３Ｑ	1,485,730株	2020年３月期３Ｑ	1,485,969株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３頁「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
３．補足情報 …… 10
（参考）鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、一時的に経済回復への兆しが見られたものの、12月には感染症再拡大の傾向が顕著になるなど、当社グループにおいては鉄道事業やバス事業をはじめ各事業は厳しい状況が続きました。

このような中、当社は公共交通事業者としての責務を果たすため、お客様や従業員の感染予防の徹底を図りながら鉄道の運行継続に努めました。また、５月の緊急事態宣言解除後は、感染拡大防止に最大限留意しつつ沿線地域の事業者等と連携した各種イベントを開催するなど、誘客活動による沿線地域の活性化と収益の確保に努めました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は2,920百万円（前年同期比29.3％減）、営業損失は522百万円（前年同期は191百万円の営業利益）、経常損失は403百万円（前年同期は185百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は439百万円（前年同期は101百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

［鉄道事業］

鉄道事業におきましては、感染症の流行が続く中、従業員のマスク着用、列車・駅設備の消毒、車内換気をはじめ各種の感染拡大防止策を講じたほか、乗客数の動向を見極めながら計画運休を行うことで乗務員等の感染による運行休止のリスク低減を図るなど、輸送の安全確保と運行継続に努めました。

旅客部門におきましては、感染症対策を徹底した上、６月のハイキング再開に続き各種イベントを開催し、11月には三峰口駅「ＳＬ転車台公園」オープン記念イベントを実施いたしました。さらに、企画列車「夜行準急“奥秩父アルプス”」の運行や「ありがとう！電気機関車108号機引退記念乗車券」をはじめ各種記念乗車券の発売など積極的な増収施策に取り組みました。

しかしながら、４月に発せられた緊急事態宣言における外出自粛や休校措置などが大きく影響したほか、宣言解除後も沿線の各種行事の中止や電車利用を控える傾向が続き、定期・定期外旅客の人員及び収入は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

貨物部門におきましては、石灰石輸送が減少したことに加え、前年度をもって石炭貨物輸送が終了したことなどにより、輸送量及び収入とも前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は2,046百万円（前年同期比23.8％減）、営業損失は429百万円(前年同期は34百万円の営業利益）となりました。

なお、石炭貨物輸送終了に伴い、12月末をもって三ヶ尻線の一部（熊谷貨物ターミナル駅及び熊谷貨物ターミナル～三ヶ尻駅間）を廃止いたしました。

［不動産事業］

不動産事業におきましては、外出自粛などから駐車場の稼働率が低下したことにより賃貸収入は減少いたしました。

この結果、営業収益は242百万円（前年同期比16.7％減）、営業利益は123百万円（同22.2％減）となりました。

［観光事業］

観光事業におきましては、緊急事態宣言を受け、長期間にわたり各施設の営業の自粛や縮小を実施いたしました。宣言解除後は国や自治体の支援事業等の効果もあり徐々に観光需要が回復しはじめましたが、団体客などの利用が戻らず大幅な減収となりました。

この結果、営業収益は241百万円（前年同期比31.8％減）、営業損失は47百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

［バス事業］

バス事業におきましては、貸切バスの需要に回復が見られず大幅な減収となりました。

この結果、営業収益は65百万円（前年同期比79.1％減）、営業損失は117百万円（前年同期は12百万円の営業利益）となりました。

［その他事業］

その他事業におきましては、旅行業では団体旅行の催行が困難な状況が続いたほか、卸売・小売業では販売が低調に推移し、それぞれ減収となりました。

この結果、営業収益は592百万円（前年同期比24.2％減）、営業損失は56百万円（前年同期は10百万円の営業損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し23,514百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ117百万円増加し2,423百万円、固定資産は43百万円減少し21,090百万円となりました。流動資産増加の主な要因は、その他に含まれる補助金等の未収金が減少した一方、現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ426百万円増加し13,254百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ309百万円増加し3,810百万円、固定負債は116百万円増加し9,444百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、その他に含まれる未払費用が増加したことによるものです。固定負債増加の主な要因は、その他に含まれる長期前受金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ352百万円減少し10,259百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第３四半期までの業績動向等を踏まえ、当期の業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、本日（2021年２月12日）別途公表の「営業外収益（助成金収入）及び特別利益・特別損失の計上並びに2021年３月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※当業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	646,051	900,859
受取手形及び売掛金	365,081	391,671
分譲土地建物	96,870	96,856
商品及び製品	30,354	31,926
原材料及び貯蔵品	163,552	150,429
その他	1,009,094	855,977
貸倒引当金	△5,035	△4,161
流動資産合計	2,305,969	2,423,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,266,400	14,300,793
減価償却累計額	△9,926,022	△10,033,744
建物及び構築物（純額）	4,340,378	4,267,049
機械装置及び運搬具	5,227,928	5,169,458
減価償却累計額	△4,602,649	△4,607,410
機械装置及び運搬具（純額）	625,279	562,048
土地	15,696,415	15,694,543
その他	708,320	705,259
減価償却累計額	△622,656	△638,087
その他（純額）	85,663	67,172
有形固定資産合計	20,747,737	20,590,813
無形固定資産	26,740	36,354
投資その他の資産		
投資有価証券	321,375	429,271
繰延税金資産	10,637	7,459
その他	49,231	49,481
貸倒引当金	△21,970	△22,892
投資その他の資産合計	359,274	463,319
固定資産合計	21,133,752	21,090,487
資産合計	23,439,721	23,514,045

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	331,899	224,306
短期借入金	1,161,000	1,105,000
1年内返済予定の長期借入金	999,869	1,024,959
未払法人税等	45,859	52,554
未払消費税等	78,253	185,929
賞与引当金	188,839	111,017
その他	694,642	1,106,429
流動負債合計	3,500,364	3,810,196
固定負債		
長期借入金	2,063,421	2,050,062
繰延税金負債	239,278	309,834
再評価に係る繰延税金負債	4,494,244	4,488,119
退職給付に係る負債	1,565,754	1,493,069
特別修繕引当金	166,400	210,397
長期預り金	91,957	85,467
資産撤去引当金	658,597	658,597
その他	48,371	149,121
固定負債合計	9,328,025	9,444,670
負債合計	12,828,389	13,254,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,952	19,014
利益剰余金	△176,745	△579,423
自己株式	△31,366	△31,415
株主資本合計	563,839	158,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,146	246,371
土地再評価差額金	9,846,834	9,832,844
退職給付に係る調整累計額	16,799	10,236
その他の包括利益累計額合計	10,035,780	10,089,452
非支配株主持分	11,711	11,550
純資産合計	10,611,331	10,259,178
負債純資産合計	23,439,721	23,514,045

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
営業収益	4,133,337	2,920,380
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,892,453	2,506,659
販売費及び一般管理費	1,049,641	936,582
営業費合計	3,942,095	3,443,242
営業利益又は営業損失（△）	191,242	△522,862
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	9,490	9,490
土地物件貸付料	13,418	13,901
助成金収入	－	123,636
その他	7,503	3,208
営業外収益合計	30,421	150,243
営業外費用		
支払利息	22,008	20,130
減価償却費	12,285	10,110
その他	1,670	1,091
営業外費用合計	35,965	31,332
経常利益又は経常損失（△）	185,697	△403,951
特別利益		
固定資産売却益	2,643	14,529
工事負担金等受入額	－	110,242
補助金受入額	28,990	－
特別利益合計	31,633	124,772
特別損失		
固定資産圧縮損	28,990	110,132
固定資産売却損	46	5,696
固定資産除却及び撤去費	13,996	1,399
減損損失	7,919	－
120周年記念事業費	7,889	－
特別損失合計	58,842	117,228
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	158,489	△396,407
法人税、住民税及び事業税	23,277	9,552
法人税等調整額	33,795	34,668
法人税等合計	57,073	44,221
四半期純利益又は四半期純損失（△）	101,416	△440,628
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△24	△1,448
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	101,440	△439,179

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	101,416	△440,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,618	74,258
退職給付に係る調整額	△8,504	△6,562
その他の包括利益合計	△56,123	67,695
四半期包括利益	45,292	△372,932
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,338	△371,517
非支配株主に係る四半期包括利益	△45	△1,415

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第１四半期連結会計期間において、秩鉄タクシー株式会社は清算結了により、連結の範囲から除外しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自2019年４月１日　至2019年12月31日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	鉄道事業	不動産事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	2,676,678	283,946	353,877	312,918	3,627,420	505,916	4,133,337	－	4,133,337
セグメント間の内部営業収益又は振替高	7,323	6,677	834	95	14,930	275,914	290,844	△290,844	－
計	2,684,002	290,623	354,711	313,013	3,642,351	781,830	4,424,181	△290,844	4,133,337
セグメント利益又は損失（△）	34,582	158,194	△8,177	12,381	196,980	△10,645	186,334	4,907	191,242

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額4,907千円には、固定資産未実現損益の消去額1,537千円、セグメント間取引消去3,370千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自2020年４月１日　至2020年12月31日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	鉄道事業	不動産事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益 外部顧客への営業収益	2,038,424	230,975	241,599	65,033	2,576,033	344,346	2,920,380	―	2,920,380
セグメント間の内部営業収益又は振替高	7,839	11,218	339	267	19,664	248,300	267,964	△267,964	―
計	2,046,263	242,194	241,938	65,300	2,595,697	592,647	3,188,344	△267,964	2,920,380
セグメント利益又は損失（△）	△429,414	123,078	△47,099	△117,738	△471,174	△56,099	△527,273	4,411	△522,862

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額4,411千円には、固定資産未実現損益の消去額1,729千円、セグメント間取引消去2,682千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．補足情報

（参考）鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第３四半期連結累計期間	前第３四半期連結累計期間	増減率（%）
旅　客　人　員	定　　期	千　人	2,877	4,016	△28.4
	定　期　外	〃	1,144	2,201	△48.0
	計	〃	4,021	6,218	△35.3
貨　物　ト　ン　数		千トン	1,379	1,532	△10.0
旅　客　収　入	定　　期	百万円	426	547	△22.1
	定　期　外	〃	452	902	△49.9
	計	〃	878	1,450	△39.4
貨　物　収　入		〃	979	1,046	△6.4